

古民家再生 構造見学会『春田里の家』の感想 2014.4.29

連空間設計 黒野

敷地は JR 春田駅の近くで、広い前庭や米蔵が2つあるとても立派な古民家でした。明治 14 年（1881 年）頃に建てられたもので、持ち主の方はハウスメーカーでの建て替えを考えられていたそうですが、この古民家の「おくどさん（土間空間にあるカマド）のある景色」がとても素敵だったため、どうにか残したいと思われた、上丸さん・河合さん・福田さん達が「古い住宅を生かそうプロジェクト」を立ち上げて、再生・改修して住まいとギャラリーとして使い続けてもらうようお願いをし、了承をいただいたということでした。

予想以上に柱などの劣化が激しく試行錯誤しながら進める工事のお話や、構造補強の考え方（既存の構造を尊重し、貫や渡りあごを使って木材同士の接点を多くして、木のめり込みによる粘り強さで強度を確保することなど）、また過去に手を入れられた大工さんと対話をしながら手を加えていかれていることなど、貴重なお話がたくさん聞けました。

同日の午前中には、高松伸さん設計「赤塚の森」（深田電機本社社屋 FKD）の見学会がありました。外装をアルミ木目調ルーバーで樹木模様にした建物でした。建物のパンフには、「美しい建築」・「自然の建築化」若しくは「建築の自然化」・「地球温暖化問題」・「For your life,for our globe の理念」などの言葉が書かれていましたが、あまりピンと来ていなかったまま古民家再生の見学をさせていただき、（住まいと企業の広告塔の違いはありますが）パンフに書かれていた言葉は、古民家再生プロジェクトの方がピンと来るなあ！と思いました。また、写真等の情報では伝わりにくい、その場所に身を置いて分かる居心地の良さなどの大切さを改めて感じました。『春田里の家』の完成見学会を楽しみにしています！



土間の上を飛ぶ曲がり梁



2階からの前庭の景色